

## はじめに

|          |  |
|----------|--|
| 著者       | 佐藤 寛   |
| 権利       | Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア<br>経済研究所 / Institute of Developing<br>Economies, Japan External Trade Organization<br>(IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a> |
| シリーズタイトル | アジアを見る眼  |
| シリーズ番号   | 89   |
| 雑誌名      | イエメン : もうひとつのアラビア  |
| ページ      | iii-iv   |
| 発行年      | 1993   |
| 出版者      | アジア経済研究所   |
| URL      | <a href="http://hdl.handle.net/2344/00017812">http://hdl.handle.net/2344/00017812</a>  |

## はじめに

イエメンの話をしようと思う。

イエメンに三年住んで日本に帰ってから、いろんなところで、いろんな人にイエメンについて話をする機会があった。もつとも、イエメンに関心をもってる人なんてほとんどいないから、ぼくがイエメンについて話したいといくら思っている、そう頻繁にチャンスがあるわけではない。だからたまに「イエメンって、どんな国ですか？」なんて尋ねられると、嬉しくて「このチャンスを逃してなるものか」とあれも言おう、これも言いたいと思うのだけれど、いつも限られた時間のなかで言いたいことの十分の一も言えないもどかしさを味わうはめになる。

おもしろいこと、びっくりすること、意外なことなどをいろいろ話したいと思うのだけれど、イエメンなんて日本人にはほんとなじみのない国だから、いろいろ予備知識がないとおもし

ろさがわからない。そこでまず、その予備知識から説明することになる。イエメンはどこにあって、人々の宗教はなんで、人口は何人で、気候はどうで、なんてことを一通り話し終わって、さてこれからおもしろいところになるぞ、というあたりでだいたいいつも時間切れになってしまうのだ。

だから、今日はもうイエメンがどこにあって、人口が何人で、なんていう話は後回しにしよう。イエメンの人々のくらしのなかにまぎれこんだ異邦人が、日々の生活のなかで目にする風景について思いつくままに話をしようと思う。

元来おしゃべりなぼくはイエメンで見聞きしたおもしろい出来事を、独り占めするのがもったいなくてしゃべってみたくてしょうがなかったのだ。一つでも二つでもみなさんに「おもしろい」と思ってもらえて、イエメンってこんな国だったの、というイメージを描いていただければ幸せである。